



丹波の森

兵庫丹波の地域情報誌

No.45

2012.6



* CONTENTS *

- 🌿 魚津三太郎塾／地区カルテ…その後…p2・p3
- 🌿 丹波青少年本部からのお知らせ／森あそびのススメ…p4
- 🌿 生活創造ニュース(たんば.COM)／くらしあんしん…p5
- 🌿 丹波の森情報…p6
- 🌿 丹波年輪の里／丹波並木道中央公園…p7
- 🌿 ささやまの森公園／お知らせ／森のクイズ…p8

魚津三太郎塾



丹波の森公苑長
丹波の森研究所長
中瀬 勲

魚津三太郎塾が開催された魚津市（富山県）は、標高三〇〇m級の北アルプス連山が背後にそびえ、水深一〇〇mの富山湾が前に広がる地に位置しています。このことから「標高差四〇〇mのまち」がキャッチコピーとなっています。清涼な水に恵まれ、海産物の豊かな落ち着いたまちです。3月28日、富山大学で地域連携を担当している友人から、富山大学と魚津市の連携のもとで、地域の人材養成及び起業を目的として開催されている魚津三太郎塾最終日の特別講演に呼んでいただきました。この三太郎塾の名称は、川原田政太郎、盛永俊太郎、宇田新太郎の著名な地元出身の3博士にちなんだ名称とのこと。この塾の特徴は、「産学官金」の連携ということで、企業経営に深くかわかる「金融機関」が、

塾の運営支援や塾生派遣で参画していることです。塾生は、市内の製造、建設、農林、飲食、印刷、海産物土産屋、JA、森林組合、金融、水族館等に勤務する20〜40代の若者でした。

この日は、塾生各人が研修成果をポスター発表し、その後、特別講演として、「丹波や伯馬での地域おこし、人材養成」のことを話してきました。塾生に加えて、富山大学長、魚津市長、派遣した企業の皆さんをはじめ多くの方々が集まり、活発で有意義な議論をすることができました。その中で、まちの活性化をテーマに、地域資源の発掘と活用、異業種の交流やネットワーク化等に関して多くの話題がありました。森林組合の間伐材と印刷用紙との間でのカーボンオフセット、飲食業・土産店・JAなどの地産地消のネットワークなど、実現に向けての具体の話が進んでいました。塾終了後の交流会でも、塾生の間で、塾の継続やさらなる魚津市の活性化について話題が沸騰していました。ちなみに、魚津に着いた後、駅前で昼食をとった店、帰りに

お土産を買った店、両方とも塾生の店であったこともあり、2日間滞在しただけで魚津市のファンになった次第です。

20年程前に「丹波の森づくり」をテーマに議論したこと、10年程前に「丹波地域ビジョン策定」で議論したこと等、丹波で皆様と共有した活気を再体験したような気持ちでした。翻ってみますと、丹波地域では、既に20年余の市民主体の先進的な地域活性化の実績があります。このお陰で、私が呼ばれたと思うのですが、丹波地域の、森づくりや地域づくり、文化芸術活動等の多様な試みと成果が全国に波及しているものと再認識しました。

一方、魚津市のみならず、全国各地で環境全体（水俣市、川崎市等）、交通（富山市、岡山市等）、ゴミ（上勝町等）、バイオマス（真庭市等）、IT（神山市等）等、従来のテーマとは一味違うユニークな地域づくりが始まっています。今一度、丹波での、これまでの実績と全国での新たな試みを対比しながら、丹波を再考する良い時期に来ているように思います。

地区カルテ：その後

ふくろう爺爺さん、お元気？
ところで先月号で紹介してもらった地区カルテは、その後どうなったの？

地区カルテは、3月にできあがったそうじゃが、それからいろいろ忙しかったみたいじゃ。

どうということなの？

地区カルテは、地域（まちづくり協議会、自治協議会）、市（篠山市・丹波市）、兵庫丹波の森協会の三者が力を合わせて地域づくりを進めるために、地区の現状や資源、課題や取組みなどの情報を共有できたら効果的じゃ。そう思ってたんだけど

そうだったわね。

文章や図、地図、写真を用いた44地区のカルテ（各地区A3×2頁）を印刷し、協力いただいた協議会、行政（市、県）、大学などにまず配ったそうじゃ。

へー……



その後、地区カルテが新聞で紹介されてから、「ぜひ入手したい」と、公共公益団体や個人などから問い合わせや依頼が殺到したそうじゃ。

どんなところからあったの？

まず、地域に関する情報源として、県や市の図書館に置きたいと・・・。ついで小学校・中学校の「ふるさと教育」に使いたいと依頼があったそうじゃ。

すごいわ・・・、ほかには？

変わったところでは、地域のことをもっと知りたいと、郵便局、銀行、記念館などから。ほかに都会から一ターソンして丹波をもっと知りたい人、歴史の研究者、他の地域に住む丹波出身者などじゃ。

思いがけないところからね！

いろんなところで、どんどん使ってほしいからと、無償・有償で提供したら、作った200冊がなくなったそうじゃ。

すごいわ。ところで、地区カルテを見たみなさんの反応はどうだったの？

「各地区の情報がコンパクトにまとまって分かりやすい」「自分たちの地区を紹介する材料になる」「住んでいるのに、まだまだ知らないことが多いことが分かった」「集落の分布や高齢化の状況も分かるのがよい」などじゃ。

へーっ、いろいろね。

「歴史など特定の分野をまとめた資料は多いけど、いろいろな分野を一つの地区でまとめたものはなかった」「他の地区の取り組みが参考になる」などの意見もあったぞ。

すばらしいわ！

丹波地域は一つ！ その丹波地域が一目で分かるカルテが出来たことは、実はすばらしいことじゃ！

そうね。もっとすばらしいことは、地域市、兵庫丹波の森協会が力を合

わせて地区カルテをつくったことじゃ。そう思うわ。



地域づくりワークショップ

こんなことができた丹波地域は、やっぱり地域づくりの先進地じゃ。地区カルテができたことを契機に、それぞれの地区が互いに学んだり、見学しあうなど、いろんな交流が始まったらええのう。

ぜひそうなってほしいわ。ところで、地区カルテはどこで見られるの？

図書館、各地区の協議会事務局、市役所（篠山市：市民協働課・各支所、丹波市：地域協働課・各支所）、兵庫丹波の森協会（丹波の森公苑）などで見られるぞ。もっと詳しく知りたい人に、兵庫丹波の森協会が問い合わせに응じるそうじゃ。

次はちがう話をするぞ。それまで元気で、またじゃ。

プロフィール

たんちゃん

丹波地域に住む、小学4年の元気な女の子。ふくろう爺さんと話すうちに、丹波地域や地域づくりのことがだんだんわかり、おもしろくなってきた。

ふくろう爺さん

丹波の森に長く棲み、丹波地域を見つづけてきた長老のふくろう。地区ごとの地域づくりをあたたく見守りながら、エールを送っている。

地域づくりは、地域の課題の解決と望ましい将来像の実現にむけて、地域の資源（人・モノ・カネ・情報など）をいかして持続的に取り組むことです。兵庫丹波の森協会／丹波の森研究所は、支援が必要な地区の勉強会や計画づくりなどに研究員が出かけたり、ご相談に応じます。地区カルテの問い合わせも含め、ご連絡は兵庫丹波の森協会（山本）へ

TEL&FAX／0795-73-0063
E-mail: morikenkyu@tanba-mori.or.jp

丹波青少年本部からのお知らせ

丹波出会いサポートセンターから

この春、利用しやすくなりました！

- 日曜日も開館しています
- プロフィール閲覧が、パソコンでの検索・閲覧に切り替わりました

有料登録会員「はばタン会員」
(年会費：3,000円)のみなさまに、お見合いや交流会等、「出会い」の機会を提供しています。

どうぞお気軽に、相談・登録・閲覧においでください。みなさまのご来館をお待ちしています。



◆お問い合わせ:

丹波出会いサポートセンター

TEL:0795-78-9130 丹波の森公園1F

開館日：水曜日～日曜日 9:00～17:15

※月・火・祝祭日・年末年始(12月29日～1月3日)は閉館

青少年活動ボランティア登録者募集中!

休日を利用してボランティア活動を始めてみませんか?

子どもたちの体験活動を中心に、地域や団体が行うイベントなどを紹介し、ボランティアとして参加していただける登録制度です。ご都合や、興味・関心にあわせて活動できますよ。



◆お問い合わせ: 丹波青少年本部事務局
電話0795-72-5168

森あそびの ススメ

ーみんなで守ろう
ホトケドジョウー

篠山市と丹波市ではマドジョウ・シマドジョウ・ホトケドジョウ・ナガレホトケドジョウの4種が確認されています。

(ホトケドジョウは篠山市未確認)

ホトケドジョウは成魚で約5～6cmで観賞魚のように遊泳する可愛いドジョウです。水田構造改善事業(乾田化)などにより棲息地が極少化し絶滅が心配されています。

日本固有種で、環境省：絶滅危惧種IB類および兵庫県：レッドデータブックAランクに指定されています。

兵庫県内では丹波市の4か所で確認されているだけです。丹波市が日本の棲息地の西限でナガレホトケドジョウと同所的に棲息する貴重なところなのです。

棲息環境：湧水泥底地(山裾の湧水田)

形態特長：ヒゲ4対：8本(マドジョウなどは3対：6本)虹彩部分が金色

2006年、丹波地域のホトケドジョウを守る会を結成、絶滅危惧種の保全(丹波で絶滅したミナミトミヨの轍は踏まない)、きれいな水の指標、篠山市での探索を重点課題として毎月1回活動を行っています。参加者を募っています。ご家族で参加して下さい。

連絡先: 丹波の森公園 森づくり課 TEL0795-72-5169



ホトケドジョウ：増田修氏撮影

自然や伝統の味を活かした地域の活性化

県民交流広場では、地域のみなさんが主体となって
様々な手づくりのコミュニティ活動が展開されています。

活動事例紹介

丹波市東地区「水分れ」のまちをPR

東地区では、日本一低い平地にある中央分水界をわかりやすく紹介する看板を、JR石生駅前にある生郷交流会館の敷地内に設置し、PRに努めています。

看板では、水分れ公園から高谷川沿いに石生交差点へと向かう道を境に、雨が北側に降れば日本海へ、南側なら瀬戸内海に流れることが、色分けや矢印でわかりやすく示されています。

「水分れ」のまちをPRし、初めてこの地を訪れる人にも、地域の魅力に関心を持ってもらい、もう一度訪ねたいまちとなるよう願っています。



篠山市大山地区【ふるさとの味「とふめし」を全国に】

大山地区で地元の女性達が運営する食堂「コミュニティキッチン結良里」の看板メニューで、郷土料理「とふめし」が商標登録されました。

「とふめし」は、ゆがいた豆腐に炒めたゴボウ・ニンジン・サバの水煮・油揚げなどをご飯と一緒に蒸らして作る料理で、素朴なおいしさが人気を集めています。

結良里では、オープン当初から提供している「とふめし」を商標登録することで、伝統の味を後世に伝え、地域活性化につなげていこうと期待を膨らませています。



金杯カタログの買い取り
～多数の業者・人物が登場する
劇場型勧誘～

相談事例

地元出身の芸術家が作った金杯を販売するというカタログが届いた。すると、遠方の業者から「選ばれた人にだけ送られているカタログを探している。購入した人から高額で買い取りもしている。」という電話があった。数日後、別の業者からまたカタログのことで電話があり「その芸術家は人間国宝に選ばれるかもしれない人で、みんなが躍起になって探している。取りに行くのでカタログを譲って欲しい。1万円の商品券を渡す」と言われた。

アドバイス

これは劇場型と呼ばれる悪質な勧誘の手口です。すべての業者・人物が、同一グループであるか連携関係にあるものと思われます。実際に会うと、カタログを譲る見返りに商品券を渡すのではなく、「欲しい人の代わりに商品を購入してもらえないか、代金に謝礼を付けて買い取る」と持ちかけて、高額な代金を支払わせるのが目的ではないかと推察されます。この手口は、投資詐欺でもよく使われるものです。

業者にお金を支払っても、実際に商品が送られてくるか不明ですし、送られてきてもそれっきり業者とは連絡が取れず、買い取ってもらうことが不可能になることが考え

られます。

この場合、一度支払ったお金を取り戻すことは極めて困難です。このような場合、毅然とした態度で「お話に応じるつもりはありません。今後は電話をしないでください」などと告げて、こちらからすぐに電話を切ってください。勧誘内容に応じないという意思表示をするだけでなく、今後の電話勧誘も断っておく点が重要です。おかしいと感じたら、業者に会ったりお金を支払う前に、必ず消費生活センターなどに相談しましょう。

出前講座実施中(費用無料)

職員が自治会や老人会などの集会に出向いて、わかりやすく事例を紹介しながら、悪質商法等の被害防止を呼びかける「出前講座」を行っていますので、ぜひご利用ください。

丹波消費生活センター(丹波の森公苑内)
TEL(0795)72-0999 FAX(0795)72-0899

① 平成24年度 講座「丹波学」 “もののふたちの時代～平氏・源氏と丹波～”

歴史にその名を残す丹波の武将たち。その起こりとその後のドラマとは、戦乱の時代を生きた庶民の暮らしや女性たちの立場や思いも絡めながら講義を展開します。

- と き：9月1日(土)～12月8日(土) 5回シリーズ
- ところ：丹波の森公苑多目的ルーム
- 内 容：「中世に生きる女たち」
「戦乱を駆け抜けた丹波の武将達」
「現地見学(丹波達身寺)」など
- 定 員：90人
- 受講料：5,000円
- 申込み：7月初旬～



② 18th丹波の森国際音楽祭

シューベルティアードたんば2012

オープニング・サロンコンサート

- と き：9月8日(土)
①13:30～ ②15:30～
- ところ：お菓子の里丹波 ミオール館
- 出演者：井本英子(ピアノ)
※今年のフランチ
畑儀文(テノール) ほか
- 料 金：3,000円 ※ケーキ・お茶付き



ファイナルコンサート

- と き：11月17日(土) 14:00～
- ところ：丹波の森公苑ホール
- 出演者：井本英子(ピアノ) 畑儀文(テノール)
THE BARBERS&BISHOPS(男声合唱)
朴瑛実(ソプラノ) ほか
- 料 金：大人2,500円 中高生1,000円 小学生無料

③ 平成24年度 丹波の森演劇祭 「丹波の森子どもミュージカル体験塾」

小学生から高校生までの子どもたちが、演技を基礎から学び、プロの俳優と共演するための本格的な「歌」「ダンス」のレッスンを重ね、感動いっぱいの発表公演を行います。



- と き：10月21日(日)
- ところ：丹波の森公苑ホール
- 演 目：「白雪姫」(劇団ウエストオリジナル)
- 定 員：30人
- 入場料：大人1,000円、高校生以下500円
※体験塾生募集 6月28日(木)～

④ 子ども向け 丹波の森公苑 夏のワークショップ2012

自然いっぱいの丹波の森公苑では「夏休み」という特別な時間に、特別な思い出となるような楽しいワークショップをご用意しております。

皆さまのご参加をお待ちしております！
(6月28日(木)から募集)

丹波の森子ども美術クラブ “大好きな絵本を作品にしよう！”

- と き：7/24(火)・26(木)・31(火)
※3日間かけて作品をつくります。
- ところ：丹波の森公苑 創作工房・中庭
- 参加費：1,000円
- 内 容：お気に入りの絵本を元に様々な素材を使い、講師の先生と共に立体作品(ジオラマ)をつくります。
(講 師) 松橋義雄 氏
(対 象) 小学4～6年生
(定 員) 20人程度(先着順)

丹波の森美術学校

森公苑DEアニメ

パソコンを使ってアニメーションづくりに挑戦

- と き：8/4(土)・8/5(日)
※2日間かけて作品をつくります。
- ところ：丹波の森公苑 セミナー室 ●参加費：1,000円
- 内 容：映像やアニメーションを専門に学ぶ大学生と一緒にパソコンで映像作品をつくります。
(講 師) 宝塚大学 学生
(対 象) 小学生(5.6年生)、中学生、高校生
(定 員) 20人程度(先着順)



木工クラフトの拠点 丹波年輪の里

第25回 丹波の森 ウッドクラフト展 (木のおもちゃ大賞展) 作品募集

丹波の森ウッドクラフト展は
木工クラフトの全国公募展です。

木のぬくもりあふれる「おもちゃ」を募集します。
(ジュニアの部はおもちゃに限定しません)
一般の部：平成24年7月1日～8月14日消印有効
ジュニアの部：平成24年7月1日～9月14日消印有効
主催・丹波の森ウッドクラフト展実行委員会
http://nenrin.org/w_craft/



昨年度の一般の部グランプリ作品

一般の部
グランプリ賞金
50万円!

つくって飛ばそう 竹とんぼ大会



8月26日(日) 10:00～16:00

対象：自作の竹とんぼで参加できる方
(前日25日に教室を開きます)

参加費：1,000円(中学生以下無料)

夏休み工作教室



8月4日(土) 9:30～16:30
「木のおもちゃ ビー玉の階段」
をつくろう!

8月25日(土) 10:00～16:00
「ポンポン船」をつくろう!

みんなで 絵本を楽しもう



絵本の読み聞かせや紙芝居、
牛乳パック工作など

8月5日(日) 13:30～16:00

定員：15名、参加費無料

お問い合わせ先

～12種類の選べる楽しいクラフトメニューをはじめ、小さな
アクセサリから木のおもちゃ、家具作りまで、工具や材料を
ご用意してスタッフ一同皆様のお越しをお待ちしています～

みんなの工作室 丹波年輪の里

〒669-3312 兵庫県丹波市柏原町田路 102-3

TEL.0795-73-0725 FAX.0795-73-0727

URL <http://nenrin.org/> E-mail: mail@nenrin.org

開館時間 9:00～21:00 (工作受付は 16:00 まで)

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)

入館無料

工作室使用料一般100円、中学生以下50円(材料費別途要)
団体貸切要予約



兵庫県立

丹波並木道中央公園



公園のイベント

■ノルディックウォーキング(毎月1回程度開催)

■花と緑の教室

7月13日(金)「水辺の植物の寄せ植えと管理法」

8月10日(金)「夏の玄関を飾る寄せ植えと管理法」

9月7日(金)「カラーリーフの寄せ植えと管理法」

■木工教室

大人の木工教室 毎月第1土曜日、毎月第3土曜日 10時～15時

子どもクラフト 毎月第3土曜日 13時30分～15時

■プリザーブドアレンジメント

年に4回程度開催

■シャミレレを作って演奏しよう♪

7月29日(日)、8月19日(日)

10時～15時

その他イベント盛りだくさん!

詳細は公園のHPまたは、
広報紙「PARK LIFE」をご覧ください。



大人の木工教室(第1土曜日のメニュー)

地図



自動車：舞鶴若狭自動車道「丹南篠山口IC」
から約5分

電 車：JR 福知山線「丹波大山駅」
から徒歩10分

公園サポーター募集

公園づくりの仕事をお手伝いしていただく

「お助け隊」を募集します。

木工サポーター：ベンチや椅子などの木工品の作製

花壇サポーター：公園での花壇づくりのお手伝い

(詳細はお問い合わせください。)

兵庫県立丹波並木道中央公園

〒669-2221 兵庫県篠山市西古佐 90 番地

TEL 079-594-0990 / FAX 079-594-0991

駐車場利用時間：8時～17時30分

入園料、駐車場とも無料

HP <http://www.hyogo-park.or.jp/tanba/>

BLOG <http://namikimichipark.blog.fc2.com/>

Twitter [namiki_michi](https://twitter.com/namiki_michi)

ささやまの森公園



✳️ 7月

- ・草木染め教室
- ・竹の風鈴作り
- ・ヒメボタルを見つけよう ほか

定例プログラム



✳️ 8月

- ・水辺の生きものを探そう
- ・草木染め教室
- ・里山体験シリーズ（全3回）
そば道場入門 ほか

ささやまの森公園

〒669-2512 兵庫県篠山市川原511-1 TEL079(557)0045/FAX079(557)0201
URL:<http://www.sasayamanomori.jp/> E-mail:csr@sasayamanomori.jp

丹波の森大学

「公開講座」のお知らせ



（公財）兵庫丹波の森協会では、「私たちの社会、家族、癒しを考える」を本年度の学習の基本テーマに「丹波の森大学」を開催します。公開講座では、テレビ等でも幅広く活躍されている作家の玉岡かおる氏を講師としてお迎えします。

- 日時：平成24年9月7日（金）午後1時30分～
- 場所：丹波の森公苑 多目的ルーム

丹波の森公苑をご利用ください。

丹波の森公苑では、ホールや会議室、グラウンドやテニスコートなどの施設をご利用いただけます。グループ活動や研修などにご利用ください。



開苑時間 9時～22時

（グラウンド、テニスコートは17時まで）

休 苑 日 月曜日（祝日の場合はその翌日）

使用料など詳しいお問い合わせは、丹波の森公苑総務企画課へ。ご利用をお待ちしています。

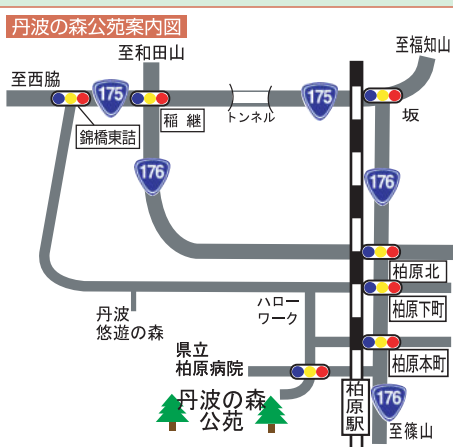
TEL (0795) 72-2127 (代)

ホームページアドレス

<http://www.tanba-mori.or.jp>

公益財団法人への移行について

このたび（財）兵庫丹波の森協会は、兵庫県知事より公益財団法人の認定を受け、平成24年4月1日をもって「公益財団法人兵庫丹波の森協会」として新たな一歩を踏み出しました。公益財団法人への移行を契機に、丹波の森構想の原点に帰りより一層努力するとともに、公益法人に求められる透明性の高い法人運営に努めてまいります。皆様には、今後とも引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



（公財）兵庫丹波の森協会 丹波の森公苑

〒669-3309
丹波市柏原町柏原5600

Tel.0795-72-2127

Fax.0795-72-5164

<http://www.tanba-mori.or.jp>

E-mail:morikoen@hk.sun-ip.or.jp

印刷 ウニスガ印刷株式会社

森のクイズ

多くの県や市町村では木や花をシンボルとして制定しています。

ちなみに篠山市は木をヤマザクラ、花をササユリ、丹波市は木をモミジ、花はカタクリをシンボルとして制定しています。国は木と花は制定していません。日本昆虫学会が1957年に国蝶を定めました。

下記の中で国蝶はどれでしょう。

- ①ナミアゲハチョウ
- ②オオムラサキ
- ③モンシロチョウ

正解者には抽選の上、協会から記念品をプレゼントします。クイズの答えと住所、氏名、ご意見などを書いてハガキで事務局までお送りください。（〆切7月31日）